

# 産学連携における知的財産創造の道筋

— コミュニケーションをいかに高めるか —

2003年2月18日

株式会社 日本総合研究所 創発戦略センター  
上席主任研究員 金子 直哉

# 1. どうすればいいのか

(1) 知的財産を集積する

(2) 目利き機能を高める

(3) リスク分散の仕組みを作る

## 2. マサチューセッツ工科大学の知財活用の流れ

項目	予算年度				
	FY1996-97	FY1997-98	FY1998-99	FY1999-2000	FY2000-2001
発明発表件数	360	356	381	423	446
米国特許の出願件数	195	276	260	329	411
米国特許の成立件数	130	119	143	150	160
ライセンスの契約件数 <sup>1)</sup>	166	306	225	171	192
スタートアップ企業の起業数 <sup>2)</sup>	8	14	17	25	26
ライセンス収入	\$19.0M	\$16.2M	\$17.6M	\$31.3M	\$77.0M
法務関連経費 <sup>3)</sup>	\$2.0M	\$2.8M	\$3.6M	\$3.0M	\$3.5M

1) 商標、ソフトウェア関連の契約を全て含んだもの

2) ベンチャーキャピタルの資金を獲得、または他のファンドから50万ドル以上の資金を獲得した企業

3) 総経費からライセンスーによる弁済金を差し引いたもの

(資料) 「TLO Statistics for Fiscal Year 1997、1998、1999、2000、2001」(Technology Licensing Office, Massachusetts Institute of Technology) をもとに日本総合研究所が作成

### 3. 80年代のTLOに何が起こったか

\* 80年代にマサチューセッツ工科大学TLOは大きく戦略を転換・・・

- ①「出願」から「ライセンス」に重点をシフト
- ②「ライセンス収入」から「ライセンス件数」に重点をシフト
- ③ソフトウェアのライセンシングを導入
- ④ロイヤルティーに加え、エクイティー（株式）も取得
- ⑤理工学の学位取得者、ビジネス経験者をライセンシング・スタッフに採用
- ⑥産業分野毎に専任のライセンシング・スタッフを任命
- ⑦「揺りかごから墓場まで」方式の業務スタイルを採用
- ⑧産業界の有望ライセンシーとの人的関係構築に重点

## 4. TLOで活躍する人材とは

\*現在、マサチューセッツ工科大学TLOでは・・・

①バイオテクノロジー、医療機器、半導体、レーザー、コンピュータ構造、イメージング、診断、マイクロ&ナノテクなどの専門家が活動。

②発明の背後にある工学的価値、市場や産業との関わり（市場や産

## 5. 事業化する市場を見つけるには

